

日本母子ケア研究会第20回学術・実践報告会のご案内

テーマ

## 『変わりゆく親子関係に対応する』

～メディア育児を考える～

近年、産後うつの問題がクローズアップされ、その対策として各自治体で産後ケア事業への取り組みが始まり母子に関わる看護職への期待がより高まってきています。伝承育児が希薄になり、情報過多の中で母親たちは子どもの欲求にどう対応したら良いのか戸惑いながらネット依存に陥り、密室で孤独な育児にさいなまれている場合も少なからず見受けられます。

今回、長年こころを育てる抱っこ法という心理技法を用いて数多くの親子に深く関わりつつ子どもの本音に向き合えるよう導き続けている日本抱っこ法協会会長の西川みゆきさんをお招きしました。「おなかが空いた」「眠い」「ウンチ・おしっこ」などの生理的欲求以外の泣きやだだこね、赤ちゃんを迎える上の子の心理など日常子育てしていると誰もが悩まされる事態にどう付き合ったら良いのか細やかな対応を学びたいと思います。

また、午後は「スマホ育児」を始めとするネット依存育児に潜む危険性について問題提起してもらい西川さんにも加わってもらって会場とのディスカッションを深めます。

急激に変わりつつある近年の育児に対して専門職としてどう対応して行ったら良いのか知見を広めてまいりたいと思います。皆様お誘いあわせの上御参加下さい。

日本母子ケア研究会会長 伊東厚子

日時	2019年6月23日(日) 10:00～16:10 ※9:30～開場・受付開始
会場	横浜市健康福祉総合センター 4Fホール (裏面地図参照)
対象	看護師・保健師・助産師等医療従事者、母子支援に関わる専門職者
参加費	事前申込【6/14(金)まで】 ¥12,000(年会費込) ※昼食はご用意します ※当日参加 ¥15,000(年会費込) 6/15(土)以降の申込については当日参加扱いとなります。 ※当日扱いの場合、昼食がご用意できません。ランチミーティングを行うため、各自ご持参ください。 詳細は裏面「申し込み用紙」をご参照ください。
特典	・協賛メーカーより、サンプルのプレゼント ・20周年特別企画あり

## 【プログラム】

10:00 ~ 10:10 会長挨拶 趣旨説明

10:10 ~ 11:45◆教育講演

『授乳やおむつがえを通して育む、親子で楽しいしつけの始まり』

日本抱っこ法協会会長・公認ホルダー

西川みゆき

卒乳やおむつ外しがうまくいかないのはなぜでしょうか？赤ちゃんが生まれたら上の子を最優先に、というのは本当に必要なのでしょうか？親なら本来、誰にでも備わっている親力を発揮して、わが子の自立と自律を必要な時期に励まし応援できるのですが、その役目を苦手に感じてしまう親が増えています。これは、乳児期から始まる親子のやりとりで、親が誘って子が応える（おむつがえのように）、子が発信して親が返す（授乳のように）というような相互関係で育っていくはずの『応答性の良さ』が、現代の親子の間に無いからだと考えます。子育ては一生もの。乳児期から、親が『応答性の良さ』の導くことができれば、イヤイヤ期もタダこねも思春期も、その親子なりに乗り越えていけるはずです。

人とのやりとりを避けてしまう、物との関係性で手早く結果を得てしまう、そんな社会から影響を受けて育ったお母さんたちに、心が行き交うことの幸せを、子育てを通して思い出してもらうためには、支援者の担う役割は大きいでしょう。多くの相談事例から、親子が心を通わせるための支援をご紹介します。

### 【プロフィール】

埼玉県生まれ。3人の子を持つ母。1993年長男が1歳の時に抱っこ法と出会う。2000年指導者としての勉強を始め2004年8月上級認定取得。公認ホルダーとして始動。2017年会長就任。日本抱っこ法協会研修講師担当。「心の通い合う子育て」の普及と「親を責めない支援の在り方」を発信している。

また、自身の母乳育児、自然育児の経験を活かして、親子の心身共に健全な子育てを広めるべく活動中。すべての親子に穏やかな心・平和な心で育児をしてほしいという願いを込めたPeaceful Heartを主宰。親子の心に寄り添い、心の納得する瞬間、心と心が繋がる瞬間を提供している。

<http://ameblo.jp/peaceful-ful/>

11:45 ~ 12:00◆総会

12:10 ~ 13:45◆ランチミーティング 「本日の講師に聞きたいこと」

14:00 ~ 14:40◆子どもとメディア セミナー参加報告（伝達講習）

「今、子供の発達がおかしい！」メディアの引き起こす問題を知る  
飯能母乳育児相談所 茂木 真貴子

1才半健診あるいは3才児健診でも言葉が出ていない

人の話を聞かない

小学生の幼児化

そしてもっとも怖い「ゲーム障害」など…

メディアとの不適切な接触によって起きている多くの問題があります。しかも日本では何の対策も取られていません。私が昨年参加した「乳幼児メディアアドバイザー講習」では驚きの現実を知りました。また同時にこれまで私たちが行って来た母子へのケアの正しさと重要性を再認識しました。講習の内容をお伝えし問題への対応を皆様と考えたいと思います。

【プロフィール】

東京大学医学部付属看護学校卒業

東京大学付属病院 内科 外科勤務

山西助産所勤務

飯能母乳育児相談所 所員

看護師

14:45 ~ 16:10◆ディスカッション

（午前・午後の講演への質疑応答含む）

16:10 閉会



① FAX または郵送・メールにてお申込ください。(お一人様1枚でご記入願います。)

【ご郵送の場合】  
〒399-4117

長野県駒ヶ根市赤穂 8754 株式会社日本創健内  
日本母子ケア研究会事務局宛

【メールの場合】

boshicare@n-souken.co.jpに下記内容をご記載の上  
ご送信ください。メール確認後、事務局より返信メール  
を送らせて頂きます。



※30年度会員様は、会員番号をご記入ください。②については、ご記入不要です。(但し、ご住所などの変更があった場合にはご記入ください。)

ふりがな お名前	30年度会員番号 No.	メールマガジン配信希望 <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
		Eメールアドレス

② 新規会員様は下記内容をご記入ください。(お一人様1枚でご記入願います。)

ご自宅ご住所 〒	TEL
	FAX
所属先 (勤務)	資格 助産師・看護師・保健師 医師(小児科、産科、他)・その他( )
所属(勤務先)ご住所	TEL
	FAX
郵送物のお届け先 <input type="checkbox"/> ご自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	※チェックが無い場合には、ご自宅へご郵送させていただきます。

③ 日本母子ケア研究会2019年度会費について

会費のお支払いについてご記入ください。(第20回学術・実践報告会参加費と一緒に支払うことも可能です。)

2019年度年会費支払済のため参加費のみ 2019年度年会費+参加費

※会員の方は会員証に記載されている会員番号をお名前の前に記入して振り込みをお願いします。

◆参加費・年会費のお支払い方法について◆

郵便口座 00580-1-72806  
口座名義 日本母子ケア研究会

※通信欄に第20回学術・実践報告会参加費と明記してください。

【参加費・年会費】

参加費のみの方(会費事前入金済) 7,000 円  
年会費+参加費の方 12,000 円

※6月15日以降の申し込み  
参加費のみの方(会費事前入金済) 10,000 円  
年会費+参加費の方 15,000 円

----- 参加費をお振込み頂きましてお手続き完了となります。-----

※当日、会員証を必ずご持参ください。

※参加費をお振込みいただきました方には6月上旬より随時「参加証」をお送りいたします。

当日は参加証・会員証をご持参ください。

6月10日以降で入金後1週間経過しても参加証が届かない場合は、事務局までお知らせください。

会場案内

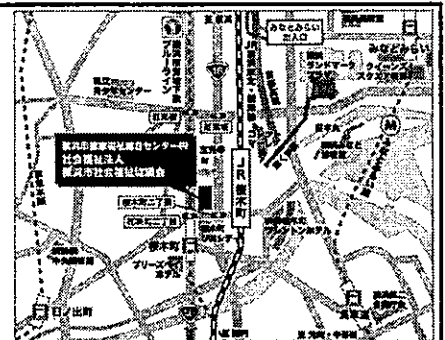
横浜市健康福祉総合センター内4Fホール  
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

JR 京浜東北・根岸線 横浜市営地下鉄 桜木町駅下車 徒歩1分

※野毛地下道をお進みの場合は、出口西をご利用ください

◆新幹線ご利用の場合

JR 新横浜駅～(JR 京浜東北・根岸線)～JR 桜木町駅



《お問い合わせ先》日本母子ケア研究会事務局 メール: boshicare@n-souken.co.jp FAX: 0265-82-5177 TEL: 0265-82-3600

※注意事項※

キャンセルをご希望の場合は、6月17日(月)までにお知らせください。返金事務手数料として、1,000 円のキャンセル料が発生致します。  
6月21日(金)以降は、参加費の100% (7,000 円)のキャンセル料が発生致しますので、何卒、ご了承ください。